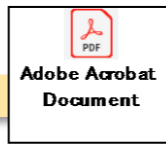


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月										
単元名	大きい数	7 → 5	わり算の筆算 (1)	11 → 10		考える力をのばそう	1 → 1	倍の見方	4 → 4	垂直、平行と四角形	13 → 12	分数	9 → 9	変わり方調べ	4 → 3	小数のかけ算とわり算	15 → 14	直方体と立方体	9 → 9	
	折れ線グラフ	9 → 9	角の大きさ	9 → 8		そろばん	2 → 2	がい数の使い方と表し方	8 → 7					面積のはかり方と表し方	11 → 10	どんな計算になるのかな	1 → 1	考える力をのばそう	1 → 1	
					小数のしくみ	13 → 12	わり算の筆算 (2)	14 → 13	算数で読みとこう	1 → 1									算数で読みとこう	1 → 1
									計算のきまり	8 → 8									4年のふくしゅう	3 → 0
時数減の方向性	【大きい数】 ・億の位と兆の位の記数法、命数法を同時に扱うことで削減 ・まとめの問題を、家庭学習との連携を図ることにより削減。	【わり算の筆算(1)】 ・まとめの問題を、家庭学習との連携を図ることにより削減。 【角の大きさ】 ・まとめの問題を、家庭学習との連携を図ることにより削減。	【小数のしくみ】 ・まとめの問題を、家庭学習との連携を図ることにより削減。	【わり算の筆算(2)】 ・まとめの問題を、家庭学習との連携を図ることにより削減。	【がい数の使い方と表し方】 ・まとめの問題を、家庭学習との連携を図ることにより削減。	【垂直、平行と四角形】 ・まとめの問題を、家庭学習との連携を図ることにより削減。	【分数】 ・まとめの問題を、家庭学習との連携を図ることにより削減。	【変わり方調べ】 ・まとめの問題を、家庭学習との連携を図ることにより削減。	【小数のかけ算とわり算】 ・まとめの問題を、家庭学習との連携を図ることにより削減。	【4年のふくしゅう】 ・家庭学習との連携を図ることにより削減。										

カリマネ要領へGO!



評価規準へGO!



単元情報	大きい数	わり算の筆算 (1)	小数のしくみ	わり算の筆算 (2)	倍の見方	計算のきまり	分数	変わり方調べ	小数のかけ算とわり算	直方体と立方体	
	ゴールの姿	・どれだけ数が大きくなっても、0から9の数字で表すことができるよ。 ・新聞で大きな数は、万、億、兆の位だけ漢字で表していたよ。一、十、百、千が4桁ごとに繰り返される数の仕組みを活用してわかりやすく表しているね。 	・何十÷何十の計算では、10をもとにして考えたり、74÷2では74を60と14とみたりして考えたり、九九を使って簡単に計算できたよ。これまでの学習を使って解決することができたよ。 ・わる数が2桁になってもわり算が 	・小数のしくみは整数のしくみと同じだから、どれだけ小さな位になっても小数で表すことができるよ。 ・小数を使うと、長さや重さを1つの単位だけで表せるよ。長さや重さの単位のしくみと小数のしくみは同じとみられるね。 	・わり算の性質を見つけるために、わる数やわられる数を自分で変えて調べたよ。どんな場合でもその性質が成り立つか、様々な数で確かめることが大切だね。 ・商を見積もったり、わり算の性質を使って計算したり、簡単な数に置き直して考えることが大切だね。 	・「倍」という言葉は今まで使っていたけれど、もともとの大きさを1とみて、比べられる大きさがいくつにあたるかを考えていたんだね。 ・割合は、2つの物の関係を比べるときに使えるね。もとの大きさが違って比べることができて便利だね。 	・式には具体的な場面を表せたり、友達のことを読み取ったりできるよさがあるね。 ・これからは、計算のきまりやかけ算の性質を使って、簡単に計算できないかを考えていきたいな。 	・分数のたし算やひき算も、20+30や0.2+0.3が10や0.1をもとにして計算したのと同じ仕組みになっているね。 ・分母が違って、計算することはできるのかな？ ・3年生の時刻や時間の計算が分数でもできるね。 	・物事を観察して、伴って変わる二つの数量を見いだすことが大事だね。 ・伴って変わる二つの数量を、表にすると変化やきまりが見える、式にすると求めたい値がすぐに求められる、折れ線グラフにすると全体的な変化の様子が目に見えるように、目的に応じて使い分けられることが大切だね。 	・小数のかけ算やわり算も、整数と同じ仕組みでできるよ。 ・かける数やわる数が小数になったり、分数のかけ算やわり算もできるのかな？ ・もともとなる大きさを1とみて比べられる大きさがいくつにあたるかという見方を使えば、小数でも倍が表せるね。 	・直方体は、安定して積み上げるために、面と面の関係が垂直や平行という性質を使っているね。 ・展開図や見取り図は、立体を平面に表せるから形の特徴が捉えられて便利だね。 ・2つや3つの数で、ものの位置が表せるだけでなく、ものの形や大きさを
	備考	・4桁ごとの数のまとまりに着目すれば、9桁を超える整数も一桁の位までの仕組みと同じであると児童が見だし、既習をいかして学び進む姿勢を大切にしたい。	・図を用いて計算の仕方や、被除数・除数・商・余りの関係を見いだしたすなど、図と筆算を関連付けて考えることを大切にしたい。	・小数が整数と同じ仕組みであることに気づき、整数でできたことは小数でもできるのではないかと、自ら問いをもち、学び進む姿勢を大切にしたい。	・小数や分数の除法に繋がることを意識して、除法の性質を用いると、序数や被除数を簡単な数に置き換えて考えられることに、よさや便利さを感じられるようにしたい。	・日常的に使っている「倍」という考えがどのような働きをしているのか、実際に割合を用いて比べる活動を通して振り返り、考えさせることを大切にしたい。	・式が計算の結果を求めるだけの手段ではなく、思考の筋道を表現する手段としても用いられることに気付かせ、式のを捉え直したい。	・異分母分数の加法・減法に繋がることを意識して、分数も整数や小数と同じように、単位となる大きさに着目すると、大小関係を比較したり、計算したりすることができると児童が見だし姿勢を大切にしたい。	・伴って変わる二つの数量を最初から提示するのではなく、自ら見いだす姿勢を大切にしたい。表から見いだした変化や対応、式の意味が、図からも見いだせるか、図・表・式を関連付けて考えさせたい。	・小数倍では「幾つ分」を用いることができないことから倍の意味を「基準量を1としたときに幾つに当たるか」へと拡張する必要がある。この見方は、小数や分数の乗法・除法に繋がることである。丁寧に扱いたい。	・形式的な知識の習得に終始せず、身の回りにある箱と関連付け、積み上げられる理由や横に並べられる理由などを面と面、辺と面、辺と辺の位置関係から考察し、直方体や立方体の性質を見いだしていきたい。
ゴールの姿	・折れ線グラフの縦軸の幅を変えると、見え方が変わるよ。目的によって使い分けたいね。 ・データから結論を出すときには、慎重になろう。データの集め方を見直したり、別の観点と比べ直したりして判断しないといかないね。 	・角の大きさを回転の大きさで考えると、直角以外の角度が見えるようになったよ。 ・角の大きさだけを決めて三角形を作図すると、形が同じで大きさが異なる三角形が作図できたよ。角の大きさは、図形の形を決めるのかな？ 		・そろばんは、位取り表と同じ仕組みで表せるね。 ・そろばんでは、大きい位から計算する。大きい位から計算すると、答えがいくつになるか、見積もることができるね。 	・場面に応じて、どの位までの概数にするかや、処理の仕方を判断することが大切だね。 ・買い物や合計金額や計算の答えに見当をつけたときは、概数にして計算すると簡単だったよ。およその数で考えることも大切だね。 	・平行や垂直の視点で四角形を見直すと、それぞれの四角形の共通性が見えて、形が違って同じ仲間と見ることができたよ。図形の見方が広がったね。 ・台形を敷き詰めると、平行四角形や平行線の性質など、学習したことが見いだせたよ。だからきれいに見えるんだね。 	・縦の長さや横の長さを利用して、計算を使って速く面積を求めることができるようになったね。 ・長さやかさと同じように、面積も数で表すと、比べるときに便利だね。 ・L字形の図形でも長方形を見いだせば公式を使って面積が求められるよ。 ・平行四角形や台形でも面積が求められるのかな？ 		・公式の暗記に留まることなく、公式を導き出す過程を大切にしたい。また、面積を表す様々な単位間(c㎡・m㎡・km㎡・a・ha)の関係を、単位正方形の辺の長さに着目して考察することで、面積公式の理解をさらに深めたい。		
備考	・児童自らが解決したい問題に関してデータを収集し、分類整理できるようにしたい。 ・問題に対する結論を出すために、どのグラフや表を用いるとよいか考え、判断できるようにしたい。 ・グラフから導かれた結論が本当に正しいと言えるのか、振り返って考える姿勢を大切にしたい。	・角を量として捉えていくために、角を静的に見るのではなく、動きを添えて回転角として捉えさせたい。また、三角形の作図を通して、角が図形の大きさや形を決める要素となることに気づき、後の平行四角形やひし形の考察に繋げていきたい。		・「大きな数」「小数」の学習と関連付け、そろばんも位取り記数法の原理に沿ったものであると捉え直したい。そろばんの仕組みと数の仕組みを対比させ、数の表し方や、計算の仕方を考えられるようにしたい。	・四捨五入がどのような場面で活用できるかという視点を大切にしたい。買い物などの具体的な場面で、自分の目的に応じて処理の仕方を判断する力を身に付けさせたい。	・平行という視点で図形を分類したり、平行四角形の辺の長さをすべて等しくするとひし形になるなど図形を関連付けてみたり、学習した四角形の性質に着目し、図形を考察することで、図形に対する見方を広げていきたい。					